

第11回行財政改革調査特別委員会会議記録

日 時 令和3年5月24日(月曜日)
場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午後 1時23分 開議
午後 1時42分 散会

付託事件

(1) 行財政改革に関する事項

1 本日の会議に付した事件

(1) 中間報告書(案)について

2 出席委員(26名)

委員長	安 藏	栄 君	副委員長	栗 原文隆 君
委員	滑 川 友理 君	委員	萩 谷 慎一 君	
委員	土 田 記代美 君	委員	田 中 真己 君	
委員	中 庭 次 男 君	委員	佐 藤 昭 雄 君	
委員	綿 引 健 君	委員	木 本 信太郎 君	
委員	後 藤 通 子 君	委員	田 口 文 明 君	
委員	森 正 慶 君	委員	鈴 木 宣 子 君	
委員	黒 木 勇 君	委員	高 倉 富 士 男 君	
委員	飯 田 正 美 君	委員	小 泉 康 二 君	
委員	大 津 亮 一 君	委員	渡 辺 政 明 君	
委員	内 藤 丈 男 君	委員	袴 塚 孝 雄 君	
委員	五 十 嵐 博 君	委員	田 口 米 蔵 君	
委員	松 本 勝 久 君	委員	福 島 辰 三 君	

3 欠席委員(1名)

委員 小 川 勝 夫 君

4 委員外議員出席者(なし)

5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田 尻 充 君	副市長	秋 葉 宗 志 君
総務部長	園 部 孝 雄 君	行政経営課長	熊 田 泰 瑞 君
財務部長	白 田 敏 範 君	財務部参事兼財政課長	梅 澤 正 樹 君

6 事務局職員出席者

事務局長 小 嶋 正 徳 君 事務局次長兼総務課長 天 野 純 一 君

議事課長 大嶋 実君 書記 武田 侑未子 君
書 記 昆 節 夫 君

午後 1時23分 開議

○安藏委員長 引き続き、御苦労さまでございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから第11回行財政改革調査特別委員会を開催いたします。

議事に先立ちまして、小川委員が検査のため欠席との連絡がありましたので、御報告を申し上げます。

それでは、これより議事に入ります。

本日の案件は、中間報告書（案）についてでございます。

前回の委員会において、正副委員長に御一任いただきました中間報告書の案文を取りまとめ、お手元に配付させていただきました。

ただいまから、内容につきまして副委員長に朗読を願いますので、お聞き取りをお願いいたします。

なお、着席のまま朗読させていただきますので、御了承願います。

それでは、栗原副委員長、よろしく申し上げます。

○栗原副委員長 行財政改革調査特別委員会中間報告書（案）。

さきの令和元年第2回水戸市議会定例会において当委員会に付託されました行財政改革に関する事項の調査の経過等について、水戸市議会会議規則第45条の規定に基づき中間報告します。

本市においては、市民が安心して暮らせる行財政運営の実現に向け、積極的な改革の取組を行ってきたところであり、今後、本市を取り巻く環境に大きな変化が予想される中、将来にわたって発展する都市、市民が誇りを持てる都市を目指して、より一層行財政改革を徹底し、質の高い行政サービスの提供と未来に向けた財政基盤の構築のため、その進捗状況等について調査、検討を行うことが求められております。

そして、令和元年6月25日の第2回市議会定例会において、議長を除く全議員をもって当委員会を設置し、行財政改革に関する事項について付託を受け、議会が調査終了を議決するまで継続して調査を行うことが認められたものであります。

以来、今日まで11回にわたり委員会を開催し、行財政改革に関する事項について、慎重に調査、検討を重ねてまいりました。

当委員会は、第1回委員会を令和元年6月25日に開催し、正副委員長の互選を行い、委員長に須田浩和君、副委員長に栗原文隆君を選出した後、今後の審議の進め方については、正副委員長に一任することを決定しました。

第2回委員会は、令和元年8月9日に開催し、初めに、執行部から、水戸市行財政改革プラン2016前期実施計画 平成30年度実施状況の概要について説明を受け、計画目標の達成状況と職員定数との関連性について、目標値の設定根拠と実施項目の評価方法等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「目標の設定に当たっては、業務の状況等に鑑みながら、実効性あるものとなるよう十分精査されたい」等の意見が出されました。

次に、執行部から、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画の策定方針について説明を受けました。

第3回委員会は、令和元年10月28日に開催し、初めに、執行部から、令和2年度行政組織の見直し（案）について説明を受け、植物公園の運営方針等について、種々質疑応答を重ねました。

次に、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画（案）について、発言通告制を採用し、審査を進め

ることを決定した後、執行部から説明を受けました。

第4回委員会は、令和2年1月16日に開催し、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画（案）について、6名の委員から発言通告に基づく質疑及び関連質疑を行い、開設時間を延長した窓口と証明書のコンビニ交付サービスの利用実績について、国際化や高齢化など時代の課題に対応した窓口サービスの実施状況について、指定管理者制度の導入に対する評価や窓口業務等における民間活力の活用状況について、民間保育所の整備方針と市立幼稚園の再編方針について、職員定数の適正管理と会計年度任用職員活用の考え方について、職員のメンタルヘルスを含む健康管理対策や出退勤管理システム導入の検討状況について、外郭団体の財務体質の改善や執行体制の強化に向けた考え方等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「幼稚園・保育所の適正規模、適正配置に向け、認定こども園の整備を推進されたい。また、市立保育所の人材不足を解消する施策の実施を検討されたい」、「マイナンバーカードについては、利用可能なサービスの掲示など、交付率を向上させる取組を積極的に実施されたい」、「市民センターの民間活力活用については、その効果を十分に検証し、それぞれの地域性を踏まえた上で慎重に進められたい」、「早出遅出勤務制度の拡充については、市民サービスが低下することのないよう実施されたい」等の意見が出されました。

第5回委員会は、令和2年1月17日に開催し、前回の委員会に引き続き、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画（案）について、5名の委員から発言通告に基づく質疑及び関連質疑を行い、窓口サービスの向上に向けた取組について、証明書のコンビニ交付サービスの周知方法について、市民への分かりやすい情報伝達の手法について、オープンデータや市政モニター制度等の取組状況と今後の方針について、市民懇談会の開催方式について、職員提案制度の実施や民間ノウハウ活用による事務事業の見直しの状況について、情報セキュリティ対策について、未利用財産等の活用法について、中長期的視点に基づく財政運営の考え方について、企業誘致に向けた考え方について、補助金・負担金の適正化の取組について、職員の能力育成を目的とした人事交流の状況について、女性管理職割合の目標値の設定について、時間外勤務の縮減や次世代育成支援の取組状況等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「さらなる情報発信の充実やICTの活用に向け、産学官の連携による取組を検討されたい」等の意見が出されました。

続いて、委員から、総括的な意見として、「本プランの各施策が実効性あるものとなるよう進行管理を徹底されたい」、「外郭団体の財務体質及び執行体制の改善に向け、担当課だけでなく総括部署においても経営改善計画の進行管理の把握に努め、年次的目標が達成されるよう指導に努められたい」等の意見が出されました。

第6回委員会は、令和2年2月20日に開催し、初めに、執行部から、これまでの委員意見等を踏まえ、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画を一部修正した内容について説明を受けた後、種々質疑応答を重ねました。

次に、執行部から、令和2年度行政組織の見直し（案）（追加見直し分）について説明を受け、都市計画部で職員定数を増員する理由等について、種々質疑応答を重ねました。

次に、執行部から、令和3年度からの非公募施設（指定管理者）の取扱い（案）について説明を受け、指定管理者の評価指標となる利用者アンケート調査の概要について、ミオスの空き店舗解消に向けた取組状況

等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「利用者アンケート調査の結果を踏まえた指定管理者の運営改善については、市においても施設設置者として指導に当たられたい」等の意見が出されました。

第7回委員会は、令和2年8月26日に開催し、執行部から、水戸市行財政改革プラン2016前期実施計画実施状況について説明を受け、市民懇談会の開催方式について、ごみ収集業務について、時間外勤務の縮減に向けた考え方等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「本プランの報告に当たっては、実施状況がより分かりやすいものとなるよう、評価方法等を整理されたい」等の意見が出されました。

第8回委員会は、令和3年2月10日に開催し、執行部から、令和3年度行政組織の見直し（案）について説明を受け、農業集落排水事業を下水道部へ移管することによる事務形態の変更点について、消防局への名称変更に伴う組織体制の考え方について、職員定数の変更理由等について、種々質疑応答を重ねました。このうち委員から、「新設の部署において事業成果を十分に上げられるよう、所管事業の進捗管理に努められたい」、「市民の安心、安全を守る上で消防局の果たす役割は大きいことから、今後も組織の充実を図られたい」、「新型コロナウイルス感染症対策に向け、担当課の体制強化を図られたい」等の意見が出されました。

第9回委員会は、令和3年3月24日に開催し、須田浩和君の委員辞任に伴い、新たに安藏栄を委員長に選出しました。

第10回委員会は、令和3年5月10日に開催し、中間報告書（案）の作成について、正副委員長に一任することを決定しました。

第11回委員会は、令和3年5月24日に開催し、中間報告書（案）を確認しました。

当委員会の現在に至るまでの調査の概要については、以上のとおりであります。

当委員会におきましては、これまで水戸市行財政改革プラン2016前期実施計画の実施状況や後期実施計画の策定、行政組織の見直しなど、行財政改革に関する事項について、調査、検討を進めてきたところであります。

今後、執行部においては、これまでの審議で出された委員意見や要望等を踏まえ、水戸市行財政改革プラン2016後期実施計画の適正な進行管理の下、さらなる市民サービスの向上や質の高い行政運営の実現を目指して、全庁を挙げて行財政改革に取り組むことを強く要望するものであります。

当委員会といたしましても、引き続き、調査、検討を進めてまいりますので、関係各位のなご一層の御協力をお願い申し上げます。

令和3年6月。

水戸市議会議長、須田浩和様。

行財政改革調査特別委員会、委員長、安藏栄。

○安藏委員長 ありがとうございます。

内容につきましては、以上のとおりであります。

ただいまの案文について、何かございましたら、御発言をお願いいたします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○安藏委員長 それでは、第2回市議会定例会における中間報告につきましては、ただいまの案文のとおりとさせていただきます。

なお、本会議における中間報告につきましては、私が概要報告書を朗読させていただくこととなりますので、御承知おき願います。

それでは、以上をもちまして、本日の特別委員会を散会します。

御苦労さまでした。

午後 1時42分 散会